土岐市立泉中学校

TOTO

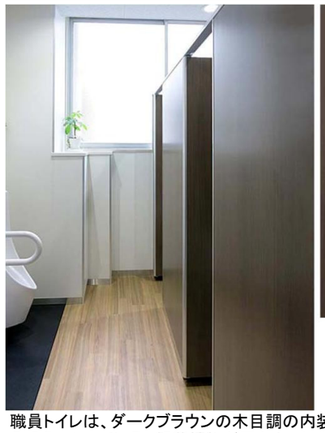
外観

土岐市立泉中学校は、1947(昭和22)年の創立。土岐市の市街地に所在し、市内中学校の中でも最大の生徒数を擁す。また、昨今の社会情勢の変化を反映し、外国籍生徒の転入学が増加傾向にある。

男子トイレ

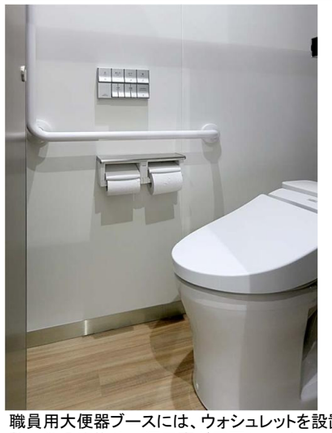
トイレ清掃は、改修を機に乾式清掃を実施。トイレを清潔に保つため、生徒が掃除する方法を掲示している。内装材は、学校内で検討し、あたたかい雰囲気のある木目調が採用されている。

職員トイレ



職員トイレは、ダークブラウンの木目調の内装材を用い、落ち着きを感じさせる設えとなっている。観葉植物が置かれ、トイレ空間のアクセントとなっている。

職員トイレ 大便器ブース



職員用大便器ブースには、ウォシュレットを設置。ボタンを押すたびに発電し、乾電池の交換や電源工事が不要なエコリモコンを採用。

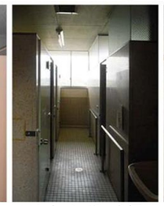
男子トイレ 小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。

大便器ブース

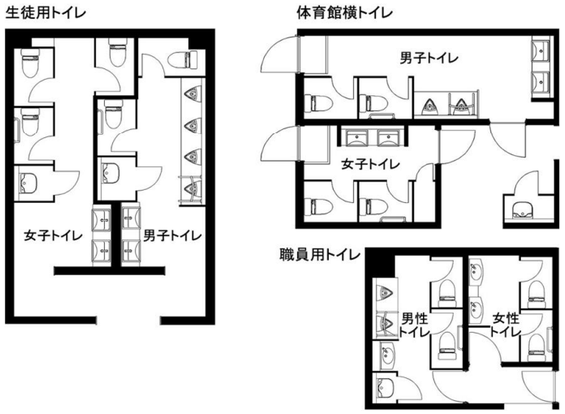
大便器はすべて普段家庭で使い慣れている洋式便器を採用。休憩時間の集中利用に対応するため、連続使用できる4.8L洗浄のフラッシュタンク式便器に暖房便座を設置。一番手前のブースには手すりを設置。

改修前

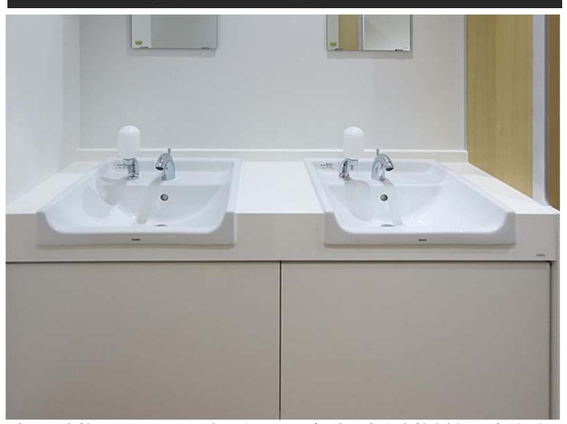


改修前のトイレは、大便器ブースはすべて和式便器、小便器は床置き式小便器であった。便器や小便器周辺の汚れが目立つことから、湿式清掃を採用。清掃などはサンダルに履き替え実施していた。

トイレ図面



男子トイレ 洗面コーナー



洗面用水栓は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。身だしなみが確認できる化粧鏡を設置し、生徒から喜ばれている。

体育館トイレ

災害時の二次避難所ともなる体育館トイレは、出入り口の段差をなくしたバリアフリー仕様となっている。校庭側からも入れる設計のため、防犯対策として体育館(屋内)側扉が施錠できるしくみとなっている。

建築概要

名　　称	土岐市立泉中学校
所 在 地	岐阜県土岐市泉町大富1635番地の1
施　　主	土岐市
設　　計	株式会社NTTファシリティーズ 東海支店
施　　工	松栄建設株式会社
竣工年月	(改修)2017年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>

岐阜県土岐市では、東濃研究学園都市構想の一翼を担い、計画的な都市づくりが進められている。美濃焼の産地でもある土岐市北部の泉町は、同市全体のうち約3割を占める最大人口を擁する中核の町となっている。その泉町に所在する「泉中学校」は、市内中学校で一番生徒数が多い中学校であり、昨今より社会情勢の変化から外国籍生徒の転入学も増加している。土岐市では、同市の中学校校舎のトイレの老朽化が進む背景から、順次改修を計画、実施している。

<トイレの特長>

大便器はすべて、普段家庭で使い慣れている洋式便器を採用し、暖房便座を設置。あわせて清掃方法においても、清潔性、メンテナンス性を考慮し水を撒いてモップで拭く湿式清掃から乾式清掃に変更した。限られたブース空間におけるコンパクト性はもとより、環境への配慮、さらに休憩時間の集中利用に対応するため、連続使用できる4.8L洗浄のフラッシュタンク式を採用。また、職員トイレにはウォシュレットを設置し、リモコンはボタンを押すたびに発電する自家発電機能を備えたエコリモコンを採用。小便器コーナーの足元には、尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置している。

2017.10 作成　無断複製・転載禁止　(C) TOTO. LTD. 2017 All Rights Reserved 29332